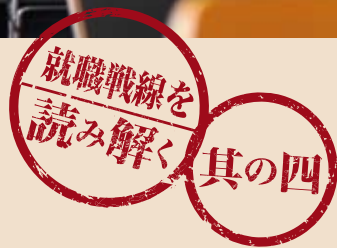




工学研究科電気電子専攻
大学院2年 長谷川 裕士

教育学部生涯教育課程
4年 田中 未恭

教育学部生涯教育課程
4年 山越 健太



“ 学生企業展の
実行委員3人に
伺いました!! ”

就活成功のカギは、 「なりたい自分」が持っている。

— 学生たちが手掛けた学生企業展の物語 —

岐阜大学で、毎年12月に開催される「学生企業展」。これは春先に行う就職ガイダンスの後、5月～6月にかけ20名ほどの学生実行委員を募り、彼ら主導で企画・運営する一大イベントです。開催9回目となった昨年は、参画企業103社、入場者数740名を集めるほどの盛況を収め幕を閉じました。そこで実行委員を代表する3名の学生に、半年に及ぶ活動の裏側をインタビュー。彼らがどう感じ、どう成長したかを、ぜひ感じ取ってください。



「なぜ実行委員をやると思ったのですか？」

長谷川 僕の場合、最初に携わったのが大学3年生の時。その翌年も、大学院への進学を決めていたためサポーター役として関わって来ました。今回は前年度実行委員の中に経験を引き継ぐべき2年生がいなかった関係で呼び戻され、実行委員長を任されることになったんです。もちろん企業展メンバーになれば、どの学生よりも早く企業の担当者と接触するわけですから、自分にとってのメリットが大きいことを知った上で手を挙げたところはあります。

山越 僕も自分の就職活動に役立ちそうだから、というのが一番の動機ですね。

田中 私は3年生になった時、それまでの大学生活で何もやってこなかった自分を後悔したんです。家が遠いから、とにかく早く帰らなければと思いついで、サークルにも入っていませんでした。何かやりたいなああって考えていたところに、企業展の話が長谷川さんが持ってきてくれたので、即やってみようと思いました。

「実行委員をやり終えた今の感想を聞かせてください。」

山越 開催準備で特に大変だったのは、新規に参加する企業へのアポ取りと、概要説明のプレゼンです。メンバーで担当を割り振り、

先輩内定者
4人に伺いました!!



ガンバレ就活! 先輩内定者のひと言アドバイス



地域科学部地域政策学科
谷田 淳 (就職先:愛知県庁)

**筆記は早めに対策。
面接は楽しむ感覚で。
開き直りも必要です。**

公務員を目指すなら早めに動くのが肝心。私は大学3年になる前の春休みから筆記試験の勉強を始めました。また国家Ⅱ種の官庁訪問は第一志望にこだわらず、社会見学を楽しむ感覚でいろんな省庁を回り説明を受けました。この経験が後の面接にも生かされたと思います。何事も前向きな状況に持っていくことが大切です。



工学部電気電子工学科
住吉 浩 (就職先:トヨタ紡織)

**身近な人への相談は
自分の中に眠る
「興味」を引出す近道。**

私には、やりたい夢がありませんでした。業種や仕事よりも企業の規模にこだわったため、エントリーシートに何を書いていいかわからない。そこで父親や親戚に相談しました。すると子どもの頃に興味を持った物を思い出し、それが今も変わっていないことに気づいたのです。夢は案外身近なところにあるようです。

**世代を超えて幅広く
人と関わった経験が
就活の武器になる。**

学生時代のせっかくの出会いを教授と学生、先輩と後輩、大人と子供などといった関係で終わらせないでください。多くの人と出会い、話をする中で他人の経験が自分の経験へと変わるはず。就活中、意識的に自分を装う必要はありません。日常の生活の中で築き上げた「自分自身」を、就活での強みにしてください。



教育学部国語教育講座
北島 大輝 (就職先:大垣市役所)

**限られた時間の中では
優先順位を決めて
行動するのが大切です。**

私はまず、譲れない条件を決め「どんな仕事に向いているか、どんな仕事がしたいか」を考えました。履歴書や面接の準備では、学生時代に何を目的に何に打ち込んだかをまとめ、特に自信を持って言えることを自分の強みとして面接に挑みました。就活で学んだのは、やるべきことの優先順位を考え行動する大切さです。



工学研究科人間情報システム工学専攻
渡邊 智一 (就職先:イビデン株式会社)

採用担当者宛に直接電話をかけ訪問するのですが、これがすごく緊張するんです。企業に向くメンバリの数は2〜3人。最初の1社は前年経験者が同行し、次からは新人だけで行かれます。僕は2社訪問したうちの1社でプレゼンを担当しました。大人の方を相手にプレゼンするなんて初めての経験でしたから、とてもいい勉強になりました。

田中 毎年企業展前にはセミナーも開催しているんです。今回は10月末に「模擬面接とマナー」を、11月中旬に「自己分析」をやりました。これは事前にメンバーを班分けし、内容や講師を決めていくもので、私は後者を担当する班のセミナー長を務めました。セミナー当日、300名収容の多目的ホールに立ち見が出るほど大盛況。その光景を見た時は嬉しさが込み上げてきて…。実行委員だから味わえた感動だったと思います。

一では、後輩学生に向けてメッセージをお願いします。

山越 いま僕は就活の真っ最中。企業面接で必ず尋ねられるのが、「大学時代に何をやったか。そこで何を得たか?」という質問です。そんな時にアピールできるのが、ここでの経験。僕は、もともと主体的に何かを企画するタイプではありませんでしたが、実行委員をきっかけに「自分から行動しなければ何も始まらない」ということ

をつくづく思い知りました。ですから今の自分を変えたいのなら、これも一つのチャンスだと思っています。

田中 同年代の子としか喋らない、遊ばない。実行委員になるまでの私は、とても狭い人間関係の中で過ごしていました。そんな私が企業に電話をかけた時、直接出向いて採用担当の方にプレゼンしたり。周りの友達に比べ、会えない人にとくさん会えた分、大人としてのマナーが身につく、考え方が成長したような気がします。やっぱり受身じゃなく、自分から積極的に行動するのって楽しいですよ!

長谷川 企業展実行委員の活動は6月〜12月の半年間。それまでの間、毎週1回は全体会議をやり、セミナー班ごとの会議もやります。話し合いや雑務、交渉事も多く、決してラクではないと思います。ただ確実に、社会人として必要な礼儀が身に付きますし、視野も広がります。また、市場調査やセミナーの下調べなど、企業展に必要なことで学生がやってみることは、予算が許す限りやれる環境があります。今年度も5月から募集が始まります。ぜひチャレンジしてください。

